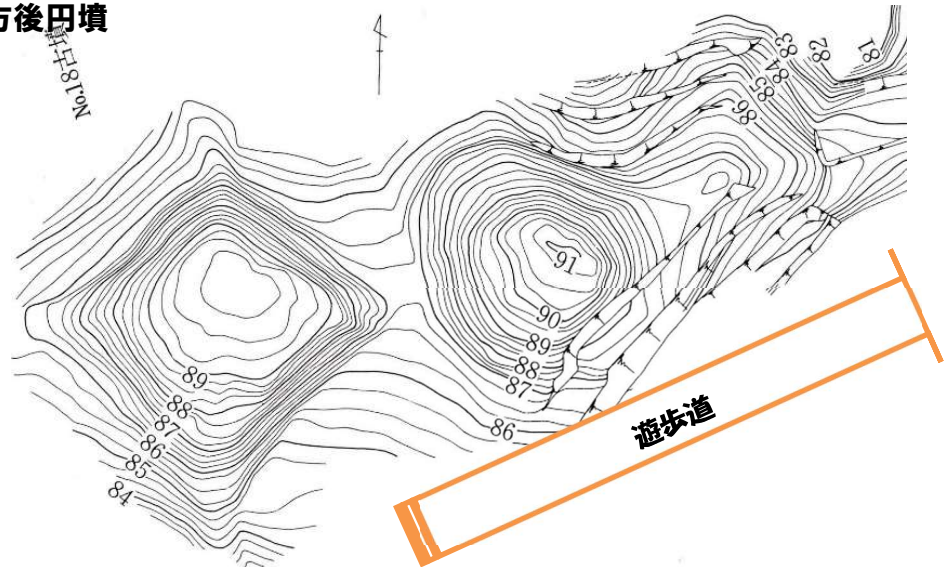


# 2024 月いちウォーク 10月の見どころ紹介

## ●亀山四隅突出型古墳と前方後円墳

「四隅突出型古墳」の上に「前方後円墳」が重なっている珍しい古墳群です。古墳の路中央付近にあります。出雲王朝とヤマト王朝の違いともいわれます。



## ●古沢塚山古墳

前方後円形で、前方部を南東方に向けます。墳丘長は約42メートル、後円部直径は約25メートルで、墳丘北側・東側にはテラス（幅約5メートル）を有します。埋葬者等の詳細は明らかではありません。この古沢塚山古墳は、古墳時代中期頃の築造と推定され、古墳時代中期における勢力変化を示唆する古墳と考えられます。背景として、4世紀中葉の湿潤期には神通川が流路を変えるほどの大洪水となるなどの影響で人々の生活が希薄になったとされ、5世紀代に古沢塚山古墳の被葬者がヤマト王権とのつながりのもと社会を復興したとする説があります。

## ●ヤブミョウガの実

果実は球形で青黒く熟し、潰すとぶちゅっと汁とともにタネが飛び出そうなる雰囲気ですが、果肉はなく、果汁も出てきません。中には多数の「多面体状のタネ」が、まるで立体パズルのように複雑に組み合わされて、球の形になっています。



## ●チャの木・実

茶の花は9月から11月にかけて咲きます。昆虫などによって花粉受粉し、ほぼ1年後の秋に種子が熟し、地面に落ちます。1つの実の中に1粒から5粒くらいの種子が入っています。昔は茶の種子から油を採り、食用や洗髪に利用していた地域がありました。また、家紋としてデザインされ、40種類以上の茶の実紋が生み出されるなど、茶の実は、日本人の生活と密接に関わってきています。



## ●お花や実など

- ・ガマズミの果実はヒヨドリやメジロなどの小鳥に食べられて運ばれ、排泄物と一緒に種子が散布されて分布域を広げます。
- ・サルスベリの花が咲いている場所もあります。今年は気温が高いため遅くまで咲くようです。

## ●ツリフネソウ

・花のさやを1本で吊り下げています。蜜分も多いため、花粉を媒介するハチ類が好みます。種はハウセンカのようにはじけて飛びます。色は、赤が一般ですが、黄・白色もあります。



## ●イカタケ



逆立ちしたイカのように見えることから「イカタケ（烏賊茸）」と名付けられました。イカタケは熱帯や亜熱帯地域に主に生息し、日本国内では宮城県以南の本州、四国や九州・沖縄県などで発見されています。とにかく臭いので、食用にはむかないキノコです。イカタケはとても数も少なく、三重県や京都府、愛媛県では絶滅の恐れがあるとして、レッドデータブックに載っています。富山県では呉羽丘陵だけで、情報が少ないことから、記載されていません。